

第46回日本インターベンショナルラジオロジー (IVR) 学会総会開催報告

The 46th Annual Meeting of the Japanese Society of Interventional Radiology

会長 金澤 右 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学)

Susumu Kanazawa (Department of Radiology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)



会長教育講演

第46回日本インターベンショナルラジオロジー (IVR) 学会総会を2017年5月18日から20日の3日間にわたって岡山コンベンションセンターと岡山県医師会館を会場として開催いたしました。

インターベンショナルラジオロジーは、カテーテルや針を用いてX線透視、超音波、CTなどの画像でガイドして行う経皮的低侵襲治療で、わが国ではIVRと略称される放射線医学の一分野です。岡山大学病院にはIVRセンターがあり、IVRの役割については、教職員や医学生に周知されているところですが、世間一般的にはまだ認識が十分でない比較的新しい分野といえます。

私自身は1981年に本学卒業後、直ちに愛知県がんセンター病院放射線診断部の研修医となり、IVRの洗礼を受けました。当時はまさしくわが国のIVRの黎明期でした。肝細胞癌のカテーテル治療である肝動脈塞栓術がわが国で開発され、新たなIVRとして世界に衝

撃を与えた時代に重なります。肝動脈塞栓術後に、肝細胞癌がCT画像上で縮小して、消失することを確認した時の驚きは今でも忘れられませんし、それも医師になりたての自分の手で治療できたという喜びは何事にも代えがたいものでした。その後30年間以上、IVRの夢を追いつけ、現在では、早期の肺がんや腎臓がんがCT画像ガイドのラジオ波焼灼術や凍結治療などのIVRで完治できる時代となりました。それは、まさしく若かりし頃の自分の夢であり、それがかなう時代まで過ごしてきた幸せを感じています。そして、IVRがさらに発展することを願っています。そこで、今回の大会のテーマは「夢を力に Power of Dreams」とさせていただきます。

会期中の3日間は好天に恵まれ、岡山駅に隣接する至便の会場設定ということもあり、予定を大きく上回る約1,900名の参加者があり、大変うれしく思っております。今回は、スライドや展示発表はすべて英語としてグローバル化に対応するとともに、展示をe-Posterとしたり、プログラムアプリケーションを作成してインターネット配信をしたりという新たな試みをしましたが、いずれも好評でした。

岡山大学放射線科のIVRの特徴を出すという意味で、通常のIVRのカテゴリーの中では、画像ガイドのablationという新しい腫瘍戦略を強調し、そのほか、臨床研究の在り方、医療機器承認、英文論文の書き方、IVR以外の低侵襲治療を学ぶなどの特別プログラムを加えました。また、新しい技術としてMRIガイドのIVRを外国人招聘講演で紹介し、教室の平木准教授等が開発しているIVR用ロボットについても紹介しました。一方で、「IVR技術のいろは」という研修医向けの教育講演を連日シリーズで開催したところ、大盛況で少しばっくりしました。「温故知新」ということでしょうか。私もカテーテルについて基本的な講演をさせていただきました。肝動脈塞栓術を開発された山



シンポジウム

田龍作先生に特別講演していただいたのも大会にふさわしいプログラムであったと思います。私の高校の同級生である北村晴男弁護士の講演も「夢を力に」というテーマにふさわしく好評でした。

特別講演等で、臓器移植医療センター長の大藤剛宏先生、IVRセンター副センター長の杉生憲志先生はじめ岡山大学病院の他科の先生方には大変なご助力をいただきました。岡山大学病院の高い臨床レベルを参加者にご教示いただき、大変ありがたく思います。IVRが今後発展していくためには、他診療領域のトップレベルを知る必要があります。参加者にとって素晴らしい機会であったと思います。

外国から講演に来てくださった先生方も世界のトップレベルの方々に、内容も充実していました。これらの先生方には、会期中に岡山大学病院のIVRセンターを見学していただきましたが、設備の先進性、充実ぶりに皆さま一様に感心され、私もうれしく思いました。

学会は学ぶ場であると同時に、楽しみ、交流をする場でもあります。今回は、初日午後会場パーティオに岡山B級グルメの屋台を出して、大好評でした。五月晴れの青天下、500円のワンコインで岡山B級グルメのホルモン焼きそば、デミかつ丼、エビ飯等を2皿、あるいは1皿とビール・ワイン等のドリンク1杯、またはドリンク2杯が楽しめるという試みで、用意した

第46回 日本IVR学会総会 IVR

“ワンコイン” 岡山B級グルメ

日時 5/18 (木)
15:00~19:00

会場 岡山コンベンションセンター
1F 屋外広場

料金 1チケット500円
000のいずれかでご利用できます

①ドリンク2杯
②B級グルメ1品+ドリンク1杯
③B級グルメ2品




チケット引換制 ※写真はイメージです。他にも多くのメニューをご用意しております。

チケットは下のいずれかでお買い求めください。

【総合受付】
岡山コンベンションセンター 2F アトリウム

【B級グルメチケット販売ブース】
岡山コンベンションセンター 1F ロビー

B級グルメチラシ

1,000皿は予定終了1時間前に完売しました。また、参加証に後楽園入場、市電乗車のフリーチケットを1枚ずつつけたところ、そのチケットで後楽園に行かれた方が230名、市電を使用された方が679名もおられ、多量なりとも地元へ貢献できたかなと思っております。参加者には惜春の岡山を十分楽しんでいただけたのではないかなと思っております。

学会の準備、運営につきましては、事務局長の平木准教授をはじめ教室員が大変尽力してくれました。放射線医学領域で、地元開催可能な学会としては最大規模の学会であり、苦労も多かったのですが、教室が一丸となって乗り切ることができました。そのほかにも、多くの方々の支えにより無事大会を成功裡に終えることができ、この場を借りて、心から感謝申し上げます。

「夢を力に」、我が国のIVRが今後ますます発展することを祈ってやみません。

平成29年6月5日受稿
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
電話：086-235-7309 FAX：086-235-7316
E-mail：susumu@cc.okayama-u.ac.jp